

## 1月全校集会

新型コロナウイルス感染防止のため、今回の全校集会も放送で行います。

3年生が自由登校となり、校内は1・2年生だけになりました。少し寂しい気持ちもありますが、2年生は最高学年になるという自覚、1年生は学校の中核になるという自覚を持ち、高校生として、また明高生として恥ずかしくない言動がとれているかどうか、今一度自己点検してほしいと思います。

ところで、皆さんがすぐに思い浮かぶことわざは何ですか。

皆さんは「犬も歩けば棒に当たる」ということわざを知っていると思います。では、その意味を答えられますか。プラスの意味とマイナスの意味があります。プラスの意味は「出歩くと、思わぬ幸運に出会うことがある」、マイナスの意味は「何かをすると、災難に遭遇することがある」です。いずれの意味に解釈したとしても、極論すれば、結果の善し悪しはあれ、私たちは偶然に支配されて生きている、ととらえることができます。

実は、私たちの人生の80%は偶然に支配されている、と言われていています。今年度1年生の皆さんと、1年前に2年生の皆さんと、私はここ明高で偶然出会いました。友達、先輩、後輩、そして先生方と、皆さんもここ明高で偶然出会いました。この確率は1/240万だそうです。ちなみに、私達が生まれた確率は1/3億だそうです。こうした偶然の出会いを、私達は運命、宿命、宿縁などとして受け入れています、自分の人生の偶然を意図して必然にできたらいいのと思いませんか。

皆さんの中に、「計画的偶発性理論」という言葉を聞いたことがある人はいますか。「計画」と「偶発」は相矛盾する、むしろ対極にある言葉なので、あまりピンときませんが、これは、偶然に支配されることなく、私たちの人生に必然的によい結果をもたらす方法はないものかと研究したアメリカ・スタンフォード大学のクランボルト教授が提唱した理論です。

クランボルト教授は、統計的に、積極的、肯定的な考え方の人により結果がもたらされる傾向があることを手がかりに、そこには5つのスキルが大きく影響していることを突き止めました。

皆さんは、よい結果をもたらす5つのスキルとは何だと思えますか。

クランボルト教授が挙げているのは、

- 1 好奇心 自分の知らない様々な世界に興味を持つこと
- 2 持続性 たとえ失敗しても諦めず、努力し続けること
- 3 柔軟性 こだわりを捨て、考え方・態度・行動を柔軟に変えること
- 4 楽観性 チャンスは必ず訪れると、ポジティブに考えること
- 5 冒険心 リスクを冒してでも、行動すること です。

分かりやすく言うと、興味を持ったことに意図して取り組んでみる、その際、こだわりを捨て、たとえリスクがあったとしても、失敗したとしても、必ずチャンスは訪れると信じて最後まで諦めずに努力し続ける、そうすると必然的に意図したよい結果がもたらされる、というものです。つまり、自ら意図して起こした行動から、自分を成功へと導くチャンスをつかみ、それをその後の人生に活かそうという考え方が、「計画的偶発性理論」です。

例えば、部活動について、学習について、進路実現について、意図して何かしらアクションを起こすこと、積極的にチャレンジすることが、よい結果に辿り着く必須条件であるように思います。

皆さんには無限の可能性があります。意図して何かしらアクションを起こすことで、皆さんの中に潜在する新たな可能性が芽吹き、必然的に人生が変わるに違いありません。ぜひ必然の結果をもたらすために、アクションを起こしてください。

最後に、兵庫県にも緊急事態宣言が発出されました。現在、県内で最も感染者が出ている地域は神戸とここ東播磨地域です。最も多いのは食事感染と家族感染です。学校での昼食時の「3つのない」（机を動かさない・対面で食事をしない・会話をしない）、これを確実に実践してください。また、各家庭においても、食事や会話などによる感染を防止する工夫をお願いします。繰り返しになりますが、学校から感染者を出さない、濃厚接触者を出さないために、必ずマスクをしてください。マスクをつけずに会話することは絶対にしないでください。お願いします。